

千秋だより

※ 発行者
千秋町連区地域づくり協議会
千秋町佐野字郷前2762番地
電話28-9010

各部会始動開始

千秋町連区地域づくり協議会、各部会の先陣を切って安全安心部会が開催される。



5月25日(水)、千秋公民館で第一回安全安心部会が開催された。(写真)

この部会は地域づくり協議会の中で「安全で安心なまちづくり」を目指した、防犯、交通安全、防災などについて

主導的な役割を担う部会。会議では、最近の千秋町内での事件報告がなされ、状況を踏まえた中で犯罪抑止を狙った看板設置等、地域にあった活動についての意見交換を行い、町会長会などへの提案をまとめた。具体的な活動は実施団体が行う予定。今後は、他の部会も順次開催する。

題字の変更について

本号より題字を変更させていただきます。短く簡単になったので覚えやすく、紙面も増えました。今後ともご愛読を宜しくお願ひします。

受講生150人を超える

末広大学初の快挙。会場に入りきれない程の参加者

6月8日(水)、千秋公民館で一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会主催の教養講座「末広大学」の講義が行われた。

今回は「心筋梗塞から大切な命を守るために」と題して一宮西病院から循環器内科部長兼集中治療室部長の大野康良先生をお招きし、予防を中心とした講義。

参加者は、熱心なまなざしで先生の話に聞き入り、高血圧、コレステロール、糖尿病との関連性などを勉強した。



質問コーナーでも体験に伴う具体的な質問が出、医師からの回答を熱心に聞いていた。

人の子どもを含めた150人が参加した。

今年も約200匹の鰻を仕入れ、地元の農家の協力を得て田に放流。子どもたちは3グループに分かれて交代で田に入った。

この日はやはり泥んこ解禁。子どもたちは勿論、親子で汚れを気にすることなく楽しんで鰻を追いかけた。

つかみ取りの後は、鰻を公民館でさばいてもらい、特製のタレと一緒に持ち帰って、楽しい思い出と一緒にお腹の中へ入っていった。

自然体験学習

「うなぎつかみ大会」開催される!

6月5日(日)、毎年、人気事業として親しまれている「うなぎつかみ大会」が、千秋公民館家庭学習部と千秋町地域学校外活動推進委員会の主催で開催された。

今年は、より多くの子どもたちに楽しんでもらうべく、申込方法を変え、20%増の115



今年も熱い戦い

5月13日(金)、県営総合運動場で老人クラブ連合会主催の千秋グラウンドゴルフ大会が開催された。個人単位で気軽に参加できることから毎年多くの参加者が汗を流す。今年は82名の参加者が練習の成果を競い合った。成績は以下のとおり。

【団体の部】

優勝／千秋同好会、準優勝／浮野3位／千秋東部、4位／千秋回地

【個人の部】(写真)

優勝／中村雄介(浮野)、準優勝／篠田昭寿(浮野)、3位／本多信明(千回)、4位／後藤鏡(千東)、5位／加藤みさ子(浮野)、6位／西山勇(千回)



心肺蘇生の訓練をする参加者たち

もしもの時のために

5月29日(日)、加茂公民館で加茂自主防災会総会が開催された。開催案内の伝達が既に訓練とあつて、56名もの会員が出席した。総会終了後は、消防署員による心肺蘇生法やAED取扱訓練を行い、一般町内会員も含めて70名が熱心に訓練をした。

同時に炊出し訓練も実施、焚き木集めから訓練が開始されておき、今回は竹の子をふんだんに使った混ぜご飯。味噌汁を含めて大鍋4台がフル稼働となった。台風2号の影響で風雨が強まり、実戦さながらの訓練となった。(中村光弘)

「千秋中学校区学校運営協議会」開催

5月14日(土)10時から、千秋公民館において第一回千秋中学校区学校運営協議会を開催しました。

この協議会は、学校・保護者・地域相互の信頼関係を深め、千秋町の子どもの豊かな学びと育ちの創造を目指すことを目的に、昨年度より学校運営協議会(コミュニティスクール)としてスタートしたものです。

全体会では、代表の河原毅さんから、「『地域全体で学校運営に協力する』これがこの会の趣旨である。今後ともよろしく願います。」との力強い言葉がありました。それを受け、学校代表として千秋中学校の高木浩正校長先生が「昨年一年、『大人が協力しないと子どもはよくならない』ということ身を持って感じた。『学校大好き、

友だち大好き、先生大好き』が実現しつつある。これからもよろしく願います。」とのあいさつをしました。

その後、昨年度の経過報告と本年度の活動計画を検討しました。

全体会終了後、各学校に分かれ、本年度の学校教育方針、行事計画、学校・家庭・地域の連携などについて、委員の方から質問やご意見をいただきました。



(酒井直樹)

「社会を明るくする運動」

標語入賞作品

7月は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るく安全で安心して暮らせる社会を築く強調月間です。

この趣旨に添い、今年も千秋中学校では全校生徒から標語を募り、審査の結果次のとおり入賞作品が決まりました。

最優秀賞

「それはダメ」 その一言で防く非行
2年 松田菜々恵

優秀賞

優しさは 心のとびらを 開く鍵
3年 鶴飼 史織

特別賞

みんなの目 非行を防ぐ 第一歩
2年 岡野 祥太

地域の安全を担って

5月23日(月)夜、24日(火)早朝の両日、地元選出の市議会議員と区域内の町会長らが消防本部の巡回に合わせて北分団と南分団を訪問。「防火防災に関する活動や災害訓練など、積極的に取り組んでください」となどと、団員らを激励した。

両日とも、あいにくの雨天であったが、今年消防団警防技術発表会にてポンプ車操法を発表予定の千秋南分団が、簡易な発表内容を披露した。

また、6月5日(日)には訓練の成果を発表した。



こちら広報部会です。

統一地方選挙も終り、地域もほっと一息。そこで、この4月に行われた選挙で、当選された地元出身の一宮市議会議員に今のお気持ちを投稿していただきました。

“当選証書を手にとって”



千秋の有権者の皆様、今回の選挙に際して

大変にご尽力を賜わり厚くお礼申し上げます。

お陰様にて当選させて頂き心よりお礼と感謝の気持ちで一杯です。誠に有難うございました。

これからは、お一人おひとり様から頂いた票に恥じない様、誠心誠意働かせて頂きますので、宜しくご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

私も76才を迎える事に成りましたが皆様方のお力添えを賜わり過去20年の歳月が流れ思い出に残る事も数多く、特に事業として小山を中心とする青木川の改修は地元の意見が一致する迄難航した事であります。

この時には過去の成り行きが如何に大切であり多くの人の意見に耳を傾けると言う事を、身を持って教えられました。

又、加茂塩尻線の拡幅事業、名神高速SAの設置、名古屋江南線の拡幅事業では国の予算獲得に代議士先生同行にて東京迄陳情し、1億円の予算を得る事が出来ました。

この様にして大きな事業を推進して参りましたのも皆様方のお陰の賜ものでございます。

次の目標は最後の「一宮春日井線であり難航が予想されますが皆様方のご協力とお知恵を借りまして成功させたいと願っております。

事業は人なり、人は信じる事であるご確信して居ります。

今後共、皆様のお力添えを宜しくお願い申し上げます。

小澤達弥

思いやりと

感謝の気持ちが自然とあふれる 元氣な地域づくり



東日本大震災の被災地の皆様へ心よりお見舞いを申し上げます。

日頃は千秋町内の皆様方には格別お力添えを賜りましてありがとうございます。また、四月の市議会議員選挙ではたくさんのご支援を頂き、三期目の当選をさせて頂きました。皆様方に心より感謝申し上げます。

23年度の議会では
企画総務委員会 副委員長
議会運営委員会 委員
所属会派 一輝会市長与党最大会派 副幹事長
大派副幹事長

千秋の発展と安全安心な街づくりを目指し、議員としての責任を持って、次のような目標で市政に積極的に取り組んでいく所存です。これからご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

地域の活性化

- 雇用の確保、経済の活性化と企業誘致
 - 地域の発展の為、総合的な基盤整備の充実
 - ・ 交差点改良、道路拡幅促進
 - ・ 河川の改良促進(水害予防の為)
 - ・ 下水道の促進
- 福祉の充実
- 高齢者や人に優しい街づくり、福祉施設の充実
 - お母さんが安心して子育てできるように

生活環境の維持向上

- AEDを各地域に設置
 - 市民の皆様の生命、財産を守る社会基盤の充実
 - 誰もが安心して暮らせる防災・防犯体制の確立
 - 市民の憩い場となる河川環境の改善(ホタル等が棲息できる清流へ...)
 - 休耕地の再利用(農地は地域の宝)
- 誰もが住んでよかった、生まれてよかったと心からやする千秋が夢であり願いです。全力で取り組みます。
- 京極扶美子



「知警」からのお知らせ

みんなできつくる安心の街

「犯罪にあわない! 犯罪を起こさせない! 犯罪を見逃さない!」

水の事故

危険はいつも

すぐそばに

「ちょっとした注意が

子どもを守ります」

◎子どもの事故防止

子どもの水の事故は、親が目を離れたその一瞬から発生します。

次のことに注意して、みんな子どもを水の事故から守りましょう。

- 危険な場所へ行かないよう、口頃から親子で話を。また、子どもたちが、危険な場所を遊んでいたら、「危ない!」と声をかけてやめさせる。

- 川には急流や深みなど様々な危険が隠れている。遊び慣れた川でも子どもだけで川に入らないよう

にする。

- 子どもを海や川で水遊びをさせる場合は、子どもから絶対に目を離さないようにする。

- プールだからといって、安心せずに見守る。

- 友達と遊んでいて、不意に川や池に落ちたら、まず、大声を出して近くにいる大人に知らせるよう日頃から子どもに教えておく。

- 近くの池や防火用水等の防護柵、注意看板等が壊れていたら、早く修理してもらえよう所有者、管理者に連絡する。
- 泳げても浮き輪を持って出掛ける。



気を付けて

「出すぎ」「近すぎ」「急すぎ」

「思いやりの気持ちで、

交通マナーを高めよう」

夏は日中の気温が非常に高くなつてぼんやりしやすくなることから、集中力が切れた行動を取りやすくなります。交通事故を防止するためには、交通ルールを守ること

はもちろんのこと、ドライバー、自転車利用者、歩行者がそれぞれの立場で他人を思いやるのが大切です。

交通マナー向上五則

「危険な運転を追放し、

交通マナーを高めよう」

- 1 正しい合図による右左折や車線変更の励行
- 2 車線変更は適切かつ必要最小限度に
- 3 黄色信号は原則ストップ
- 4 横断歩道は横断者優先
- 5 歩道は歩行者優先、自転車は徐行

千秋町交通安全会がおくる

プレゼントクイズ

	8				4			
3	2		1				8	5
	1		8		9			
	9			1	5	8		
8		1	2	4				
	3					1		2
	4				1	7		
					2	3		
6		2	3	9				

好評につき、今回も海外でも人気のあるパズルゲーム(ナンプレ)をプレゼントクイズとしてお届けします。楽しく解けるナンプレに挑戦してください。

★ルール

全てのタテ・ヨコ・太枠内に1~9が一つずつ入るように、数字を記入してください。

★賞品

正解者の中から抽選で30名の方に、ウエスト&ショルダー両方に使える反射材付「アクティブポーチ」を差し上げます。

なお、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

★応募方法・締め切り

この用紙、またはコピーしたものに記入し、お名前とご住所を下段に記入して7月11日(月)までに、FAX(76-0099)または千秋町出張所にご持参ください。



お名前

ご住所

